



クボガイ絵図 目八 天保 14 年(1843 年)

クリンイトカケ *Amaea (Scalina) thielei* (Boury) (六介) 九厘介



イトカケガイ科 殻長 3cm。殻は白色、殻表は細かい布目状、蓋は黄色。分布は房総半島以南。

クレハガイ *Epitonium (Papyriscala) clementinum* Grateloup
(丹浦) 呉羽貝



イトカケガイ科 殻長 2cm。3本の黄褐色帯をめぐらす。分布は相模湾以南。この仲間はイソギンチャク類（腔腸動物）の体表に棲む。

ゴイサギガイ *Macoma tokyoensis* (Makiyama) (目八) 五位鷲貝

ニッコウガイ科 殻長 5cm。殻は卵型でふくらみは弱い。殻は白色で光沢がある。分布は北海道南西部以南。

広辞苑によると五位とは、①位階の五番目のもの。すなわち正五位または従五位。律令制では五位以上は格段に優遇された。②ゴイサギ（鳥）の略。



コウロエンカワヒバリガイ *Xenostrobus securis* (Lamarck)



イガイ科 殻長 4cm。殻皮は黒紫色で光沢がある。オーストラリア・ニュージーランド原産の輸入種。1972年岡山県の児島湖で最初に記録された。1970年代に日本に定着。1975年頃から京浜運河周辺に生息。大型記録は2001年採捕の殻長 5.1cm（青野良平）。

名前の由来は地名：兵庫県西宮市香露園浜（瀬戸内海沿岸）。